

2 助成対象のまちづくり活動を行ったふりかえり

申請書に記載の活動の「目的、目標、計画」に基づきふりかえりをご記入ください。

(1) 目標達成（目標を達成できたか、達成できなかったものがあればその理由） コロナ禍も落ち着き、申請書で掲げた以下の活動内容をすべて実施し目標を達成した。 目標① LPガス発電機の搬送台車を作成し、公園の草刈り活動と検討会を毎月実施した。 目標② フェーズフリー防災を啓蒙する防災かまど椅子を自作し、焼き餅等で実証した。 目標③ 土のう袋に花の苗を詰め合わせて身近な話題としてフェーズフリーの事例を紹介した 目標④ 地域住民が交流する祭礼等の行事を利用して、発電機台車・防災かまど等を展示した 「平時と有事（災害）をワンセットで考える手法」フェーズフリーな防災を企画するため、地域住民が参加する行事に合わせて「炊出し訓練」を実施し、本活動を展示紹介した。
(2) 活動の成果（参加者や地域住民の評価、活動を通して得られた成果など） ・ 防災への取組みを主眼に本活動を進めてきたが、折しも能登半島地震が元旦に発生した。地域住民の幅広い共感を得ることができ、本活動の必要性を説明することができた。 ・ コロナ禍で地域コミュニティの場が消滅していたが、今年度は少しずつ回復してきた。秋の鳴海祭りでは子供神輿が3年ぶりに復活し、本活動を織り込み、皆に喜んでもらった。 ・ 公園の草刈りと清掃活動は非常に大変であったが、発電機の台車等の導入で効率化した。公園の環境が整備され、結果として元気に遊ぶ子供達が増え、達成感もありチームで協力して進める活動の源になった。
(3) 活動における工夫（活動の目標達成のために工夫して点等） ・ 清掃・草刈り活動だけではマンネリ化するので、地域住民が交流する行事をうまく活用しフェーズフリーの視点で「炊き出し訓練」を織り込んだ企画を工夫して実施した。 9月防災訓練：ホットドック 10月子供神輿：チョコフォンデュ 1月左義長：焼もち ・ 本活動で自作した防災かまどや発電機の台車は市販品でもあるが、非常に高価であった。そこで100均・部品の通販サイトを利用してできる限り安価に組立てることに工夫した。 (例) 防災かまど：耐火セメントと軽量骨材を水で混合し、型枠に流して凝固させ離型
(4) 活動の改善点（課題や反省点と、それを踏まえ今後の改善などを具体的に） ・ 炊出し作業をテレビや本で見ていたので、簡単にできると甘く考えていたのが反省点である。対象が50名程度であっても料理人の経験がない素人集団にとって混乱の連続だった。 ・ 短時間に多量の食材を調理するには、チームワーク作業が必須で事前準備も十分に実施する必要であることを炊出し訓練で学んだ。初めての経験で料理を作る事ばかり注視したが並ぶ人の列を誘導し、弱い人にも平等で料理を提供できる配慮も大事なことを学んだ。
(5) 次年度の活動計画（具体的な活動の見通しなど） ・ 夏季の草刈り作業は安全と暑熱対策を十分に織り込む。草刈り機の改造や安全学習を実施する。猛暑には、こまめな水分補給や休憩が取れる作業計画を皆で再確認する。 ・ 能登半島地震の避難生活の報道を見て、新鮮な野菜の提供も必要なことを知らされた。今年度は花苗を土のう袋で栽培したが、加えてレタス・ネギ等の野菜栽培も家庭用に実施。 ・ 炊出し訓練は実際にやることで、コツが分かってきた。地域住民の交流にも役立つので、地域の行事に同調して災害時の炊き出しが実践できるように内容メニューも工夫したい。 ・ 現状の防災かまどの火力では焼餅にも時間がかかった。ピザ窯やカレーのナン窯を参考に高温化で数分で調理できないか改造を試みる。災害時も平時も利用できるのがミソ。
(6) 活動を進めるうえで、助成事業について改善を望むこと ・ 活動を企画する上で、参考になる過去の事例を簡単に入手する事が非常に効果的である。都市センターの調査研究は、webでダウンロードできて有益である。今後の調査研究のテーマとして、まちづくり型の地域防災の実施事例を幅広く収集し整理して提示してほしい。

※第5号様式は、2ページにおさまるように記入してください。

※活動における実施した内容（写真やレポート、調査結果等）、経費にて作成した成果品（チラシ、冊子など配布物）を別添資料としてください。備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の実施記録

実施記録は1ページにおさまるように記入してください。

年	日付	活動項目	活動内容	参加者数や印刷物の発行部数等
2023	6月25日	・助成決定を受けキックオフ検討会	・今年度の実施計画をメンバーで確認 毎月の清掃活動と地域の行事で炊出し訓練を計画	スタッフ 10名
	7月18日 8月20日	・扇川公園等の清掃・草刈り <u>防災ベンチ作り</u>	・LPガス発電機を活用して地域の公園の清掃と草刈りを実施。続いて <u>防災ベンチ脚部</u> を木材でかまど型に自作	スタッフ 6名
	9月17日	★ <u>防災訓練</u> で ホットドック 提供と広報	★屋外でLPガスコンロ利用の炊出しを訓練として実施 ホットドック 40人分を調理し 防災訓練に参加した住民に提供	スタッフ 8名 参加者 40名
	10月14日	★ <u>子供神輿祭</u> で チョコフォン デュ等の提供 炊出し訓練と 広報活動 ☐ 枠は 地域行事に 同調して実施	★地域の行事である鳴海祭りの子供神輿に合わせて炊出し訓練を実施。 チーズ&チョコのフォンデュを屋外で子供神輿祭りの参加者に提供 住民参加で盛況な行事になった ・公民館下でフェーズフリーな活動 <u>土のう袋花壇・鉄製かまど・LPガス発電機</u> を地域住民に展示してチラシも配布し広報・啓蒙活動	スタッフ 10名 参加者 55名 チラシ 55部
	11月19日	・公園の清掃と <u>防災花壇</u> 作り かまど耐熱化	・定期の清掃活動を実施後に <u>防災花壇作り</u> と <u>防災かまど</u> の耐熱性アップ	スタッフ 8名
	12月9日	・公園の剪定と 焼き芋の実施	・LPガス発電機を活用して繁茂した樹木の剪定とかまどで焼き芋を実施	スタッフ 6名
	12月17日	・公園の清掃と 左義長祭りの 打合せ	・剪定後の公園の清掃活動を実施 左義長祭りに合わせて <u>防災かまど</u> による炊出しを打合せ	スタッフ 9名
	1月14日	★ <u>左義長祭り</u> で お餅ぜんざい 炊出し訓練と 広報活動	★公民館の下で左義長祭り焚火の脇で <u>防災かまど</u> を利用しお餅等を焼いて試食し参加者にも提供し広報活動 元旦に起きた能登半島地震を踏まえて本活動の重要性を全員で再認識	スタッフ 10名 参加者 38名
2024	2月18日	・公園清掃後に 当年度活動の 反省会	・定例の清掃活動後に当年度の活動内容をまとめ、身近で発生した地震に照らして本活動の重要性と今後も内容の充実を図っていくことを協議	スタッフ 10名

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の決算書

1 支出

助成対象のまちづくり活動における支出をご記入ください。

費 目 手引きの費目を参照		活動項目	領収書番号	金 額 (円)
① 助成対象事業支出額				100,963
① の 内 訳	消耗品費	◆文房具 整理ノート 説明資料用フォルダー 参考資料用フォルダー	1 2	4,712 880
		◆プリンター用インク キャノン G6030 黒と YMC 4色	3	6,201
		◆行事用の消耗品 (ダイソー) 防災訓練 (9/17) の炊き出し消耗品 子供神輿祭り (10/14) 行事の消耗品 左義長祭り (1/14) 行事の消耗品	4～6 7～12 13～14	7,238 10,450 4,840
	物品費	◆炊出し用カセットコンロ	15	3,180
		◆LP式発電機とポンプ台車の自作部品 ダイソーで台車部品 カーマで台車部品 モノタローで台車部品 アマゾンで台車部品	16 17～18 19～20 21～24	3,080 3,464 11,228 10,730
		◆水害対策の土のう袋で花の苗を栽培 土のう袋 デザイン入り 種々の花の苗を栽培利用	25 26～30	2,594 13,430
		◆防災かまど (炊出し用) の自作部品 ペール缶利用の防災かまど ペール缶のベンチ蓋 耐火セメントと軽量骨材のかまど材料 喚気口の部品	31 32 33 34	1,778 1,420 3,179 1,090
	資料費	◆参考図書の購入 (アマゾン通販) ・災害時炊出しマニュアル など4冊 ・未来を拓く地域づくり 中古本 ・フェーズフリーアワード 2021 2022 ・シニアのための防災手帖 など2冊	35 36 37 38	5,856 799 1,844 2,970
まちづくり活動助成金 (申請金額) ※上限金額: 1回目は5万円、2回目、3回目では10万円				100,000

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。